

有機農業の取組② 合鴨家族 古野農場（古野隆雄）

<基本情報>

所在地：福岡県嘉穂郡桂川町

<農場概要>

- 12.5ha（有機JAS認証未取得）
- 有機農法により水稻、各種野菜等を生産
- 労働力8名（古野氏の家族7名、研修生1名）



<有機農業に取り組むきっかけ>

- 学生時代に有吉佐和子著「複合汚染」を読み影響を受け、雑草防除と地力維持に関心を持ち、完全無農薬の有機農業を目指すことにした。有機農業は環境に優しく、健康によい。家族が食べるために作ることが最大の目的であり、同じものを消費者に届けている。

<販売について>

- 基本的に近隣の消費者へ年間契約の直接販売が多いが、そのほかにインターネット販売等も行っている。
- 農業は成長するとともに、維持することが大事であると考えることから、変化に応じて様々なことに対応しながら、地元の人々に直接販売することを続けて行きたい。



【お問合せ先】TEL.0948-65-2018

ホームページ<http://aigamokazoku.com/index.html>

<病害虫対策・除草対策・土づくり>

- 病害虫、除草対策
水稻については、1988年から開始した「合鴨農法」の体系化を実施することにより、害虫の駆除と除草を行っている。
野菜栽培については、水田輪作による防虫、耐病性の強い品種の作付け、高畝栽培、排水対策を実施することにより病虫害対策を行っている。また、独自に開発した除草農機具（ホウキング）を使用し除草することで、除草時間の大幅な削減を実現している。
- 土づくり
自家製の堆肥（籾殻、鶏ふん、牛ふんを堆肥舎でかくはん・発酵）を使用することで土づくりを行っている。（野菜畑については、10a当たり5tを投入）

このことにより、**慣行栽培と同程度の収量を確保**している。

<苦労しているところ>

- 有機農産物の消費者等への周知。

<今後の対応>

- 地域の農業を引継ぐ者が少なく、農地の管理委託が増え、今後、自分の経営面積は増えると予想されるが、できる限り家族で有機農業を維持していきたい。

<現場の課題>

- 担い手や労働力の確保と地域の活性化。

<その他>

- 有機農法講座を実施しており、昨年は約30名の受講者があった。また、有機農業を志す研修生（1～2名）を毎年受入。